資料１

第２期
射水市まち・ひと・しごと創生総合戦略
（デジタル田園都市国家構想の実現に向けて）
～選ばれるまち快適安心居住都市 いみず～
令和５年度進捗状況報告書

令和６年８月

射　水　市

目次

１　報告書策定の趣旨 1

２　人口の状況 2

３　評価の方法 3

４　数値目標及び重要業績評価指標の進捗状況 4

５　令和５年度デジタル田園都市国家構想交付金活用事業の効果検証 12

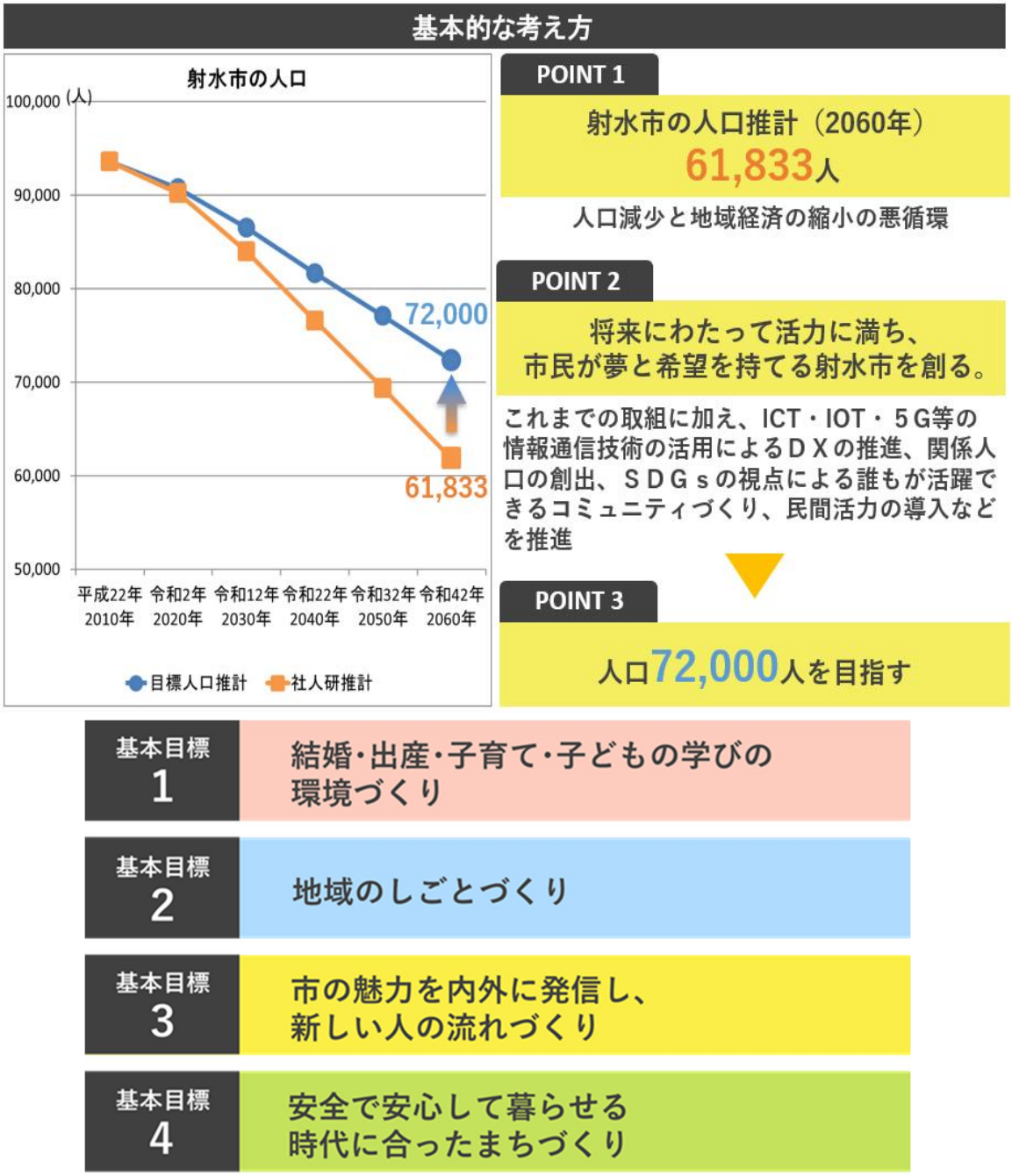
６　総合戦略における数値目標及び重要業績評価指標 18

1　報告書策定の趣旨

本市では、平成27年10月に人口減少の克服と地域活性化による地方創生を強力に進め、将来にわたって活力に満ち、市民が夢と希望を持てる射水市を創るため、「射水市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下「総合戦略」という。）を策定した。令和元年度には第１期の検証等を踏まえ、第２期総合戦略（令和２年度～令和６年度）を新たに策定している。

総合戦略は、４つの基本目標にそれぞれ数値目標を、各施策には重要業績評価指標（ＫＰＩ）を設定しており、毎年度、射水市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会において、施策の効果検証等を行い、必要に応じて総合戦略の見直しを行うこととしている。

今回は、第２期の４年目である令和５年度の進捗状況について報告するものである。



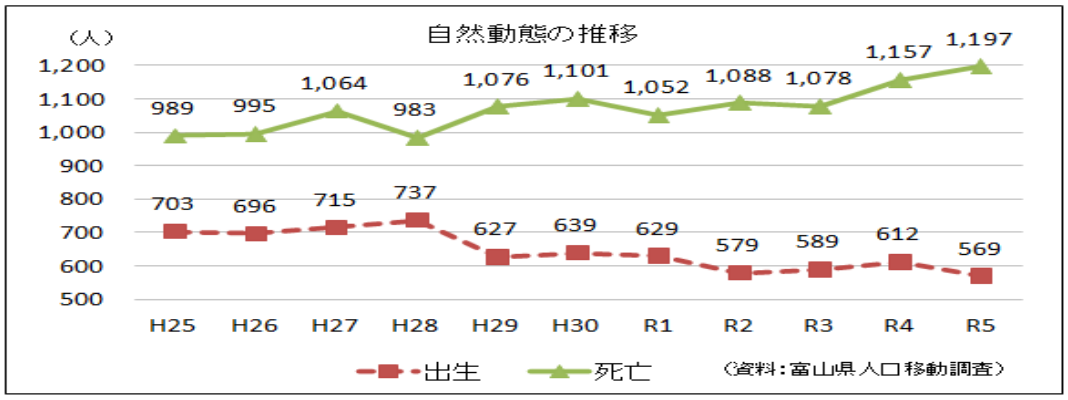
２　人口の状況

（１）人口の現状

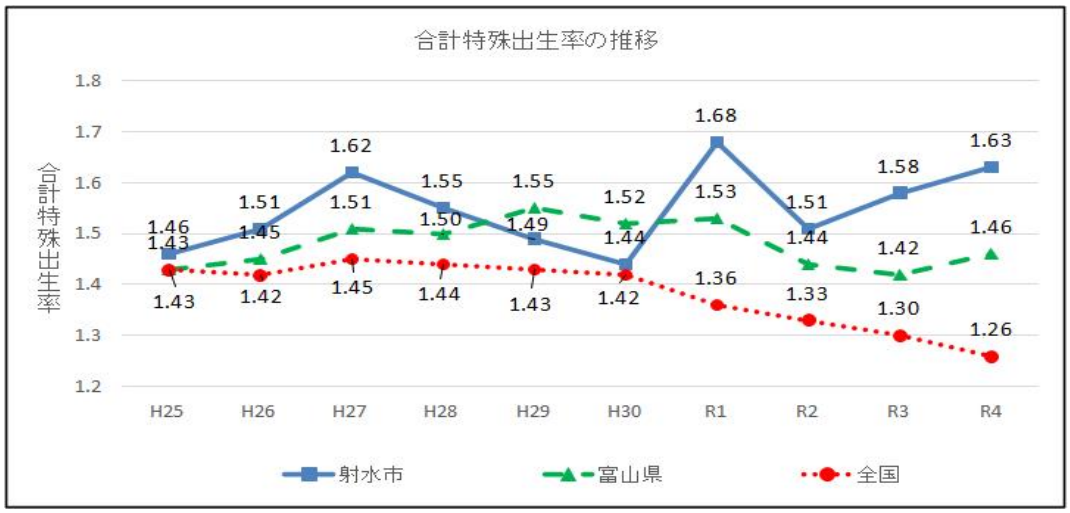
令和５年10月１日現在の本市の総人口は89,319人で、前年と比較して578人、0.64パーセントの減となった。目標人口89,511人を192人下回っており、前年と比較してその差は大きくなっている。

（２）自然動態

①　令和５年の出生者数は569人で、前年と比べ43人減少した。死亡者数は1,197人で、前年と比べ40人増加し、自然動態は628人のマイナスとなった。

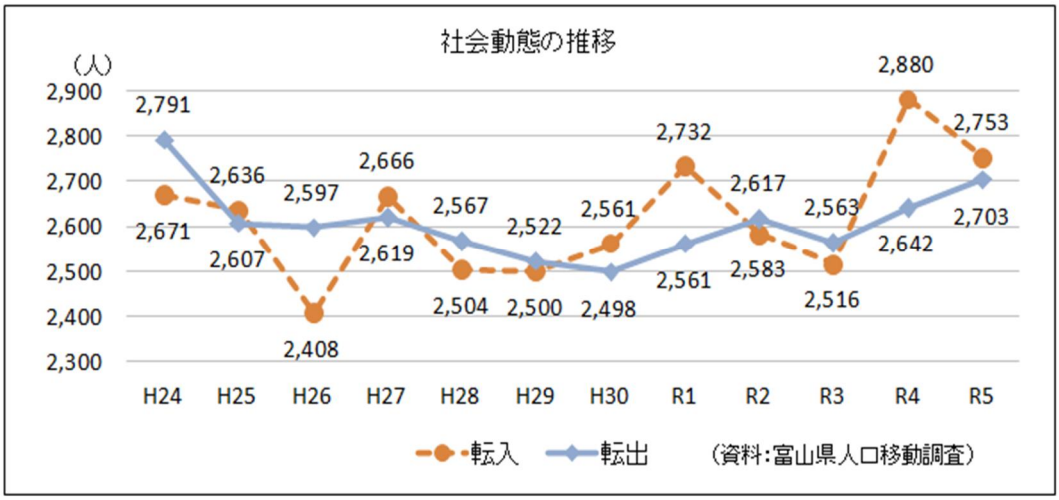


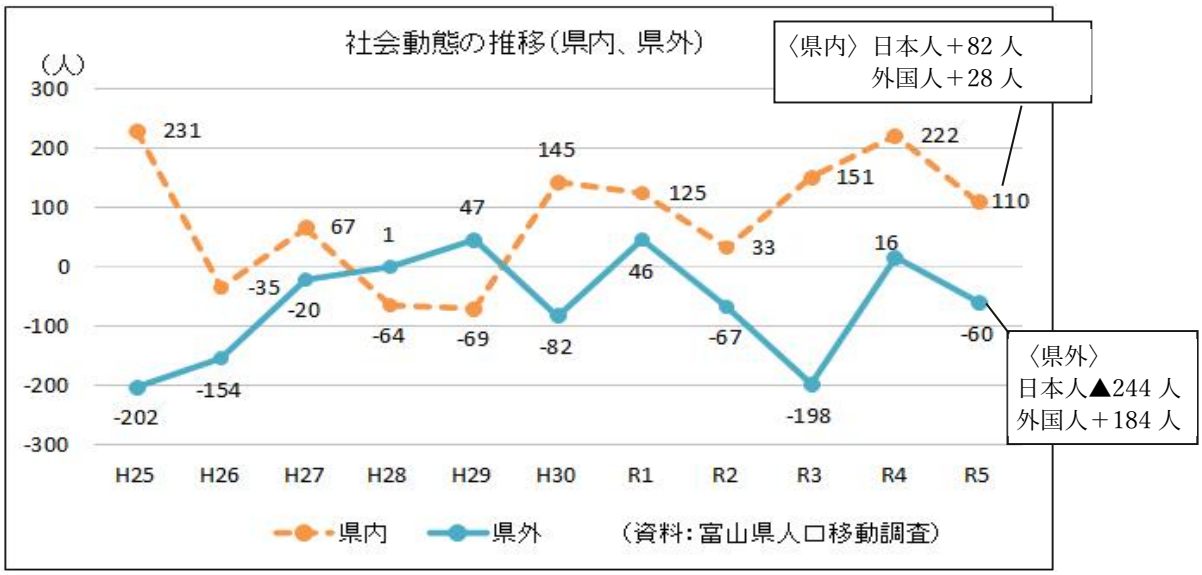
②　令和４年の合計特殊出生率は1.63であり、前年から0.05ポイント上昇した。前年に引き続き国及び県の数値よりも上回っている。



（３）社会動態

令和５年の転入者数は2,753人で、転出者数の2,703人を上回り、社会動態は50人のプラスとなった。内訳としては、日本人は162人の転出超過、外国人は212人の転入超過であり、日本人の県内移動は前年と比較して減少しているものの、日本人の県外転出者数は依然として増加傾向にある。





３　評価の方法

第２期射水市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況を客観的に検証するため、数値目標及び重要業績評価指標（ＫＰＩ）を次の５段階で評価を行う。

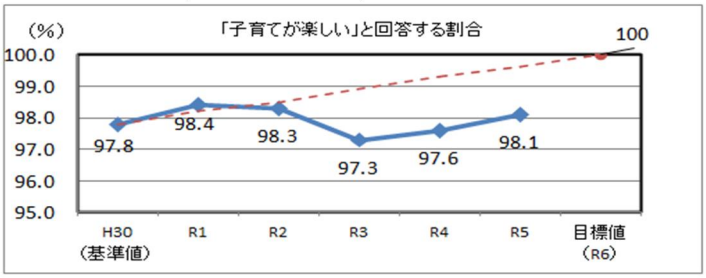
（１）達成	・・・最終年度の目標値を達成している。
（２）順調	・・・目標値に対して基準値からの進捗率が 83%以上
（３）概ね順調	・・・目標値に対して基準値からの進捗率が 41.5%以上 83%未満
（４）維持	・・・目標値に対して基準値からの進捗率が 41.5%未満
（５）遅れ	・・・基準値を下回っている。

4　数値目標及び重要業績評価指標の進捗状況

基本目標１　結婚・出産・子育て・子どもの学びの環境づくり

数値目標	基準値（H30）	実績値（R5）	目標値（R6）
「子育てが楽しい」と回答する割合	97.8%	98.1%	100%

進捗度
維持



＜主な取組及び成果＞

1　平成29年度に子ども子育て総合支援センターを開設し、妊娠から出産、子育てまで切れ目のない相談・支援を行うことで、安心して子育てできる体制を整えている。

2　令和5年1月から新たに「伴走型相談支援事業」を実施し、これまでの切れ目のない支援体制を拡充している。

3　産後うつ予防と母親の交流の場づくりを目的とした「いみずっ子Babyの会」を開催し、産後サポート体制を強化した。

＜今後の取組＞

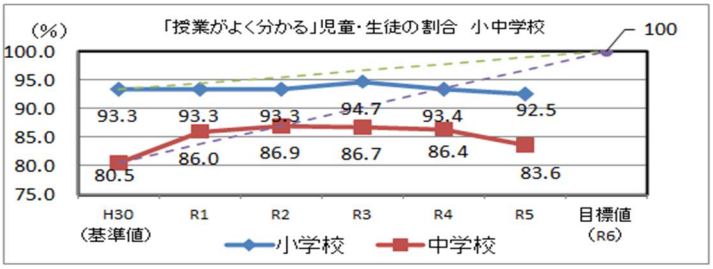
1　令和6年4月に設置された「こども家庭センター」において、母子保健分野と児童福祉分野とのより一層の連携強化を図り、切れ目のない子育て支援を行う。

2　外出困難な産後の早期に、産後うつの方に対して心理士と保健師が同行訪問をし、本人や家族への支援を行う。

3　すべての妊産婦や子育て家庭に寄り添い、伴走型相談支援事業を引き続き実施する。

数値目標	基準値（H30）	実績値（R5）	目標値（R6）
「授業がよく分かる」児童・生徒の割合	小　93.3% 中　80.5%	小　92.5% 中　83.6%	小　100% 中　100%

進捗度
維持



＜主な取組及び成果＞

1　授業において、解決までの見通しをもたせる課題設定や展開の工夫等を示した射水トライアル3点セット（射水スタンダード～授業のABC～、授業研究協議ステージアップ、授業力向上のちょいテク）を意識した実践が浸透してきた。

2　小学校第3学年の希望者を対象に、各校で5名の学習指導員が週1回（年間27回程）、算数の学力補充を目的とした放課後学習を行う「小学生学び応援塾」を5校で実施し、つまずき箇所の強化を図った。

＜今後の取組＞

1　計画的なICT活用等の研修会の実施及びICT支援員等人的な支援の充実を図るとともに、各校で実践されたICTを活用した取組のデータベースの活用を促す。

2　個々の児童生徒の学力差に対応した指導の推進を図るため、ICT機器等を積極的に活用し、個に応じた学びと協働的な学びを一層推進する。

3　児童生徒の自己肯定感を高めることによる学習意欲の喚起について継続的に取り組む。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）の進捗状況

進捗度	達成	順調	概ね順調	維持	遅れ
件数	1	0	2	3	9

※小学校、中学校で区別されているものは分けて計上

	KPI	基準値（平成30年度）	実績（令和5年度）	目標値（令和6年度）	進捗
1	男女出会いイベント数	4 件	4 件	8 件	維持
2	休日保育実施保育園数	9 園	9 園	10 園	維持
3	子育て支援センター（市内9か所）の年間利用者数	50,122 人	29,850 人	55,000 人	遅れ
4	新 R2 射水市子育て支援センター利用者満足度	（基準値R1）89.0 %	98.0 %	100 %	概ね順調
5	新 R5 子育て情報ちゃいる.com アプリのインストール数	729 件	1,741 件	2,000 件	概ね順調
6	新 赤ちゃんの駅設置箇所数	37 箇所	38 箇所	45 箇所	維持
7	男性の育児休業取得率	18.9 %	49.1 %	20.0 %	達成
8	3歳6か月児健康診査の受診率	99.2 %	98.7 %	100 %	遅れ
9	家庭学習の1日当たり時間が「10分間×学年」以上の児童・生徒の割合	（小学校）88.2 %	（小学校）82.3 %	（小学校）100 %	遅れ
		（中学校）68.3 %	（中学校）56.7 %	（中学校）100 %	遅れ
10	地域の行事に参加している児童・生徒の割合	（小学校）79.3 %	（小学校）69.9 %	増加	遅れ
		（中学校）61.2 %	（中学校）47.5 %	増加	遅れ
11	不登校児童・生徒数	（小学校）32 人	（小学校）88 人	減少	遅れ
		（中学校）63 人	（中学校）125 人	減少	遅れ
12	家庭教育に関する講座・学習会の年間参加者数	994 人	641 人	1,100 人	遅れ

※新…第２期総合戦略策定時に新たに設定したもの
※新 R2、新 R5…各年度改訂時に新たに設定したもの

○「男女出会いイベント数」については、婚活サポーターズクラブ主催のイベントや市が助成し民間が主催するイベントを 4 回開催したところ、15 組のカップルが成立した。

○「子育て支援センター（市内９か所）の年間利用者数」は、新型コロナウイルス感染症の５類移行に伴い、利用者の受入体制の見直しを図ったことや利用者自身の意識変化により前年と比較して増加している。

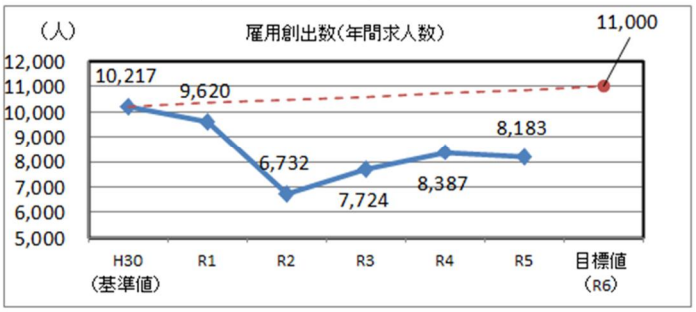
○ 「不登校児童・生徒数」については、小・中学校とも増加しており、家族関係や家庭環境に起因するなど、複雑なケースが増加している。学級に入りづらい児童生徒が安心して学ぶことのできる学校内の居場所として、5 校に設置した校内教育支援センター並びに支援員の活動の充実を図る。

○ 「家庭教育に関する講座・学習会の年間参加者数」については、いみず親学びスクールや家庭教育支援スキルアップ研修会においても参加者が減少しており、特に子育て井戸端会議については、全小学校で実施していた就学時検診にあわせて開催していたが、検診の開催方法変更に伴い実施場所が８校へと縮小されたため、参加者が昨年の約６割まで減少した。今後は、より多くの保護者が気軽に参加できるよう開催方法の見直しを図る。

基本目標２　地域のしごとづくり

数値目標	基準値（H30）	実績値（R5）	目標値（R6）
雇用創出数（年間求人数）	10,217人	8,183人	11,000人

進捗度
遅れ



＜主な取組及び成果＞

1　全国的に有効求人倍率は上昇傾向にあり、富山県及び高岡管内の有効求人倍率は全国平均を上回っているが、コロナ前の水準には回復していない。
　※高岡管内有効求人倍率：R1年度1.85、R2年度1.26、R3年度1.56、R4年度1.66、R5年度1.58（富山県1.44、全国平均1.29）

2　市内企業のテレワーク環境等の整備促進を図り、遠隔勤務など、新しい雇用形態への取組を支援した。

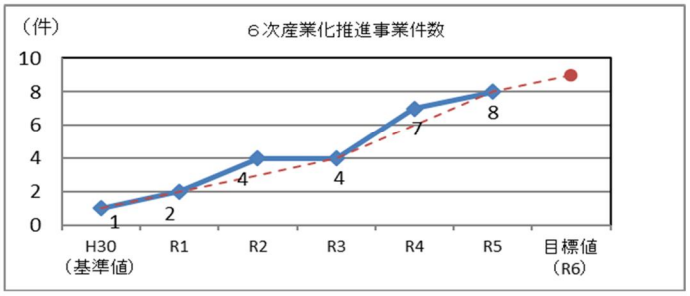
3　雇用維持、新規学卒者を主体とした若年労働者の確保、失業者への雇用機会の創出のため、射水市内企業が採用動画を作成する際にかかった経費の一部を補助した。

＜今後の取組＞

1　商工団体、ハローワーク及び市で構成する雇用対策推進協議会が実施する雇用対策事業を引き続き支援するとともに、市内高等教育機関の学生を中心に組織されるT-Engineと連携し、新たな雇用確保に取り組む。

数値目標	基準値（H30）	実績値（R5）	目標値（R6）
６次産業化推進事業件数（累計）	1件	8件	9件

進捗度
順調



＜主な取組及び成果＞

1　とやま呉西圏域ローカルフードプラットフォーム（LFP）と連携し、規格外品のえだまめを有効活用して、洋菓子やスープ等の新商品を開発した。

＜今後の取組＞

1　富山6次産業化サポートセンターによる、専門的な指導助言を積極的に活用し、６次産業化を推進する。

2　６次産業化による新商品開発等に向け、国県の補助事業を積極的に活用する。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）の進捗状況

進捗度	達成	順調	概ね順調	維持	遅れ
件数	2	0	2	2	4

	KPI	基準値（平成30年度）	実績（令和5年度）	目標値（令和6年度）	進捗
13	市内企業団地分譲率	97.6 %	97.1 %	100 %	遅れ
14	創業支援事業補助金年間利用件数	15 件	24 件	20 件	達成
15	産学官金連携による共同研究の年間件数	14 件	6 件	15 件	遅れ
16	新 射水ブランド商品開発等支援補助金を活用した延べ件数	1 件	3 件	7 件	維持
17	新 養殖サクラマスの年間出荷数	17,200 尾/年	12,750 尾/年	40,000 尾/年	遅れ
18	新 IT、IoTを活用して生産性向上に取り組む事業者の割合	― %	22.5 %	30.0 %	概ね順調
19	新R2 テレワークを実施している企業数	（基準値R2） ― 件	48 件	増加	達成
20	新 長時間労働の削減に取り組む事業者の割合	56.3 %	61.5 %	65.0 %	概ね順調
21	中小企業退職共済加入者数	3,759 人	3,780 人	4,200 人	維持
22	人材確保充足数	1,601 件	1,133 件	1,650 件	遅れ

※新 R2…令和２年度改訂時に新たに設定したもの

○ 「市内企業団地分譲率」は、令和５年４月からの沖塚原企業団地（約 9.5ha）の分譲開始により一時的に市内全体の分譲率は低下しているが、令和５年度中に県内外の企業３社と契約を締結しており、沖塚原企業団地における分譲率はすでに 40.4％となっている。

○ 「産学官金連携による共同研究の年間件数」は、昨年度と比較して２件増加したが、コロナ禍以前と比較すると回復しきれていない。引き続き、呉西圏域連携事業である「ものづくり開発・経営支援セミナー＆相談会」を開催し、企業が研究機関等へ相談できる場を提供し、共同研究・開発の促進やものづくり開発人材の育成へつなげる。

○ 「養殖サクラマスの年間出荷数」は、昨年度と比較して約 1.2 倍に増加した。これは陸上養殖を停止して海上養殖へ一本化することで養殖技術が向上し、サクラマスの品質が向上したことや死亡率が低下したことによると考えらえる。

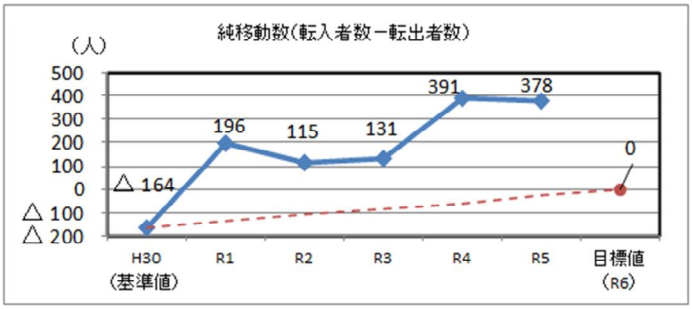
○「人材確保充足数」については、求人が求職を大幅に上回って推移し、人員不足が深刻な状況にある。射水市雇用対策推進協議会では令和５年度より求人採用活動支援事業を開始した。これは企業が雇用維持や新規学卒者等の若年労働者の確保や失業者への雇用機会の創出を目的として採用動画を作成した場合の経費の一部について補助を行うものであり、15 社からの申請があった。

基本目標３　市の魅力を内外に発信し、新しい人の流れづくり

数値目標	基準値（H30）	実績値（R5）	目標値（R6）
純移動数（転入者数－転出者数）	△ 164人	378人	0人(均衡)

※直近５年間の累計

進捗度
達成



＜主な取組及び成果＞

1　移住体験ツアーやオンラインセミナーの開催による移住検討者への情報発信やいみず住まい等応援事業補助金の新設による市外からの転入者の定住の促進を図った。

＜今後の取組＞

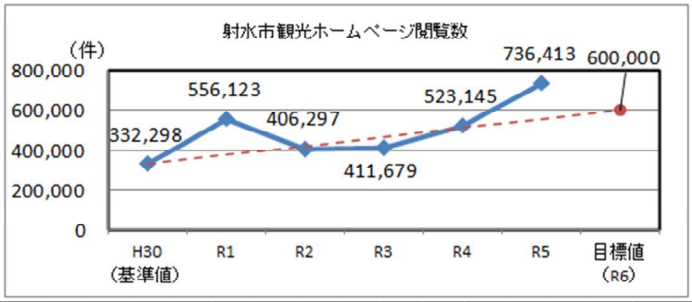
1　技能実習生など外国人の転入が多いことから、多言語対応や地域との繋がりを大切にする取組を進め、外国人にとっても住みよいまちづくりを進める。

2　若者の定住やUIJターン促進に一層努めるとともに、多くの人に本市を訪れてもらえるような施策を様々な分野で展開していく。

3　引き続き本市へのUIターンを促進するため、県外の高等教育機関に在学する学生の市内企業への就職活動等に係る交通費の一部を支援する「学生UIターン応援事業」に引き続き取り組む。

数値目標	基準値（H30）	実績値（R5）	目標値（R6）
射水市観光ホームページ閲覧数	332,298件	736,413件	600,000件

進捗度
達成



＜主な取組及び成果＞

1　新たな観光商品として「内川ナイトクルーズ」を造成するなど、観光地としての魅力向上に取り組んだ。

2　能登半島地震後、「北陸応援割」と合わせて「射水寄ってかれクーポン事業」を実施した。

3　24時間応答可能なAIチャットボットの導入や9言語（日本語、英語、フランス語、スペイン語、イタリア語、中国語（簡体）、中国語（繁体）、韓国語、タイ語）対応の観光サイトJFM（JAPAN in JAPAN for Municipality）の射水市紹介ページにアクセスできるバナー画像を設置した。

＜今後の取組＞

1　メディアの露出に対応した内容を掲載する等、効果的な発信を行い、アクセス数を伸ばす。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）の進捗状況

進捗度	達成	順調	概ね順調	維持	遅れ
件数	6	2	0	1	8

	KPI	基準値（平成30年度）	実績（令和5年度）	目標値（令和6年度）	進捗
23	新 移住施策を活用して市外から移住した延べ人数	88 人	198 人	100 人	達成
24	新 指定宅地における住宅建築率	41.9 %	49.3 %	50.0 %	順調
25	住宅相談窓口年間相談数	36 件	150 件	45 件	達成
26	空き家の有効活用支援延べ件数（サテライトオフィス、シェアオフィスを含む。）（累計）	1 件	9 件	3 件	達成
27	新 空き家情報バンクへの登録件数	36 件	46 件	40 件	達成
28	ロケ地（川の駅）来訪者数	45,835 人/年	41,119 人/年	50,000 人/年	遅れ
29	海王丸パーク周辺入込数	1,767,400 人/年	1,145,570 人/年	1,850,000 人/年	遅れ
30	新 継続的に射水市にふるさと納税をした人数	295 人/年	358 人/年	320 人/年	達成
31	新R2 市LINE公式アカウント友だち数	（基準値R2）― 人	23,647 人	25,000 人	順調
32	新 フットボールセンターの年間利用者数	― 人/年	76,696 人/年	60,000 人/年	達成
33	コミュニティバス等乗車人数	418,572 人/年	389,613 人/年	450,000 人/年	遅れ
34	万葉線乗車人数	1,192,041 人/年	1,070,665 人/年	1,200,000 人/年	遅れ
35	新 小杉駅、越中大門駅の乗車人数	1,557,708 人/年	1,541,450 人/年	1,642,500 人/年	遅れ
36	市内企業に就職したい学生の割合	50.7 %	43.1 %	70.0 %	遅れ
37	学生訪問支援事業の参加学生の満足度	97.2 %	97.0 %	98.5 %	遅れ
38	新R5 まちづくりに参画した学生・生徒の数	（基準値R4） 437 人	451 人	503 人	維持
39	新R5 学びの地域拠点の設置数	（基準値R4） ― か所	0 か所	2 か所	遅れ

※新…第２期総合戦略策定時に新たに設定したもの
※新 R2、新 R5…各年度改訂時に新たに設定したもの

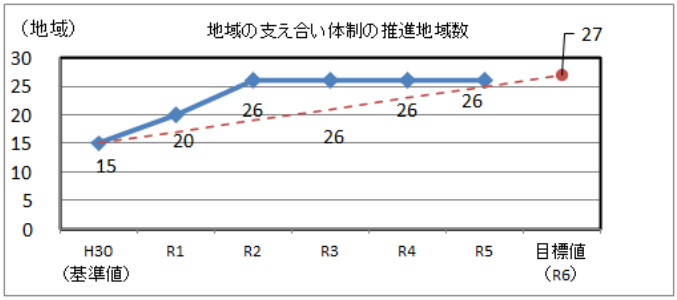
○ 「コミュニティバス等乗車人数」は、新型コロナウイルス感染症が５類移行したことに加え、利用者の声を反映したダイヤ改正により回復傾向にある。令和６年３月からAIオンデマンドバス「のるーと射水」の本格運行を市南東エリアにて開始しており、引き続きエリア拡大に向けて取り組んでいく。

○ 「市内企業に就職したい学生の割合」は、例年実施している「いみず企業見学バスツアー」の参加学生のアンケート結果を基に算出しており、昨年と比べ大幅に減となっているのは参加学生が増加し、調査母数が大きくなった影響による。令和５年度では、コロナ禍では実施できなかった福祉コース（病院・保育園・介護施設）も実現でき、多くの学生等が参加した。学生にとっては職業観等の醸成に寄与し、企業にとっては人材確保へと繋がることから、今後もニーズを反映させながら継続していく。

基本目標４　安全で安心して暮らせる時代に合ったまちづくり

数値目標	基準値（H30）	実績値（R5）	目標値（R6）
地域の支え合い体制の推進地域数	15地域	26地域	27地域

進捗度
順調



＜主な取組及び成果＞

1　高齢者が地域において自立した日常生活を営むことができるよう、地域振興会単位で住民主体の多様な地域活動の創出及び地域の支え合い体制の整備を推進した。

＜今後の取組＞

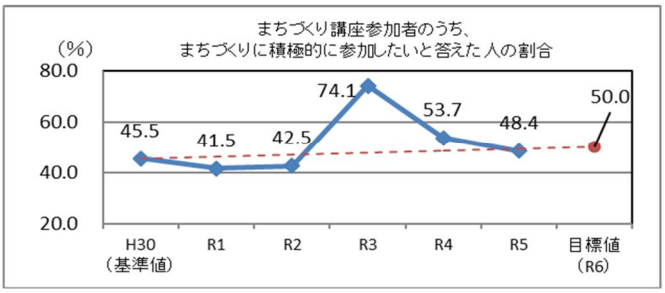
1　生活支援コーディネーター（第１層〔市〕、第2層〔地域包括支援センター〕、第3層〔地域振興会〕による生活支援や介護予防サービスなど重層的な支援体制を充実する。

2　市内全域での事業実施及び地域での住民主体の多様な支え合い活動が、より充実するよう支援する。

3　未整備地区に対して、体制整備に向けた支援を継続する。

数値目標	基準値（H30）	実績値（R5）	目標値（R6）
まちづくり講座参加者のうち、まちづくりに積極的に参加したいと答えた人の割合	45.5%	48.4%	50.0%

進捗度
概ね順調



＜主な取組及び成果＞

1　「射水まちづくりプラットフォーム～まちプラ～」を実施し、参加者が地域振興会や地域に根差した活動をしている団体の活動を体験したり、歴史的な建造物をめぐるなど、まちづくりに参画する市民の裾野を広げるよう努めた。

2　外部講師を活用して「射水まちづくりセミナー」を実施し、実践的なファシリテーション講座やゲーム形式でまちづくりを体験する講座を開催し、参加者のスキルアップを図った。

＜今後の取組＞

1　引き続き民間活力を導入し、協働のまちづくりへの理解を広め、参画意識を高めていく事業を実施する。

2　地域に対する愛着を深め、まちづくりに積極的に参加しようとする機運の醸成に努める。また、参加者アンケートを実施し、事業効果の検証を行う。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）の進捗状況

進捗度	達成	順調	概ね順調	維持	遅れ
件数	2	2	6	3	4

	KPI	基準値（平成30年度）	実績（令和5年度）	目標値（令和6年度）	進捗
40	総合患者満足度数	4.13 点	3.94 点	4.15 点	遅れ
41	防災士取得者数	109 人	173 人	162 人	達成
42	消防団員数	707 人	654 人	757 人	遅れ
43	新 一人／日当たりのごみの排出量	(基準値H27) 1,117 g	1,042 g	1,005 g	概ね順調
44	新 リサイクル率	(基準値R2) 20.9 %	19.5 %	22.1 %	遅れ
45	まちづくり講座受講者数	22 人/年	138 人/年	200 人/年	概ね順調
46	新 事業運営を担う中核的法人数	0 法人	1 法人	2 法人	概ね順調
47	元気な高齢者の割合	82.0 %	80.6 %	78.0 %	維持
48	新R3 セミナー受講者の満足度	(基準値R3) — %	66.7 %	80.0 %	順調
49	新R3 女性キャリアアップ応援補助金年間利用件数	(基準値R3) — 件	11 件	20 件	概ね順調
50	新 多文化こどもサポートセンターの年間参加者数	176 人	194 人	200 人	概ね順調
51	見直しする公共施設数	32 件	42 件	42 件	達成
52	ICカードの多目的利用業務数	4 業務	7 業務	10 業務	概ね順調
53	新 IoT活用延べ業務数	— 業務	6 業務	15 業務	維持
54	新 RPA活用延べ業務数	— 業務	18 業務	20 業務	順調
55	新R2 テレワーク活用延べ件数	(基準値R1) — 件	123 件	360 件	維持
56	呉西圏域で連携して取り組む事業数	32 件	31 件	33 件	遅れ

※新…第２期総合戦略策定時に新たに設定したもの
※新 R2、新 R3…各年度改訂時に新たに設定したもの

○「消防団員数」は、退団数は減少しているものの新規団員数も減少しているため、全体として減となっている。消防団の力向上モデル事業を活用し、消防団員姿の「いみず雫」の LINE スタンプを作成・配信して消防団の知名度をアップし、若手消防団員の加入を促進する。

○「リサイクル率」は、前年と比較して 2.4％の減となっており、資源回収の担い手不足による団体数、実施回数等の減少及び一部民間リサイクル事業者の活動状況の影響によると考えられる。市一般廃棄物処理実施計画、分別収集計画に基づく各種施策の検証を行い、見直しや新規施策を検討・実施し、取組を推進する。

○「呉西圏域で連携して取り組む事業数」については、新規連携事業提案募集で挙がった３事業について、６市担当者で事業化に向けた検討会を開催したが、事業化に至らなかった。令和６年度は、別の３つの新規事業（防災備品の共同運用、防災士の連携、産後ケア広域化）の事業化について検討する。

５　令和５年度デジタル田園都市国家構想交付金活用事業の効果検証

令和５年度に国のデジタル田園都市国家構想交付金を活用した事業は、以下のとおりです。

①高齢者と観光客が融合するまち「射水」創造事業

事業費　　29,799千円
交付金額　14,899千円

＜事業概要＞R1～R5
①観光客の玄関口である北陸新幹線新高岡駅から新湊地区、そしてあいの風とやま鉄道小杉駅を結ぶ周遊バス等を運行し、交流人口の拡大によるにぎわいの創出を図る。

②新湊地区にある複数の観光地と既存商店街とを結ぶ移動手段として、電動カートや電気自動車の導入を図り、観光客の利便性向上とともに、地域の高齢者の買い物の足とすることで、商店街の復興と活性化を図る。また、地域資源の掘り起こしによる新商品開発による販路拡大や創業支援による新規出店を促すため、キッチンカーの活用を図る。

③本市の玄関口である小杉駅から観光客を新湊地区に誘導する方策を検討する。

KPI		H30	R4	R5
商店街等新規出店支援事業補助金交付件数（件）（累計）	目標値		10件	13件
	実績値	0件	12件	18件
内川（川の駅）来訪者数（人）	目標値		45,970人	46,370人
	実績値	44,370人	38,201人	41,119人
あいの風とやま鉄道小杉駅乗車数（一日当たり）（人）	目標値		3,208人	3,213人
	実績値	3,188人	3,020人	3,178人
元気な高齢者の割合（要介護認定等を受けていない者の割合）（%）	目標値		81.0%	81.0%
	実績値	81.0%	81.2%	80.8%

＜主な取組及び成果＞

1　前年度実施の検証結果を踏まえ、県内最大の交通拠点である富山駅との接続を強化するため富山駅とベイエリアを結ぶ既存路線（ぶりかにバス）の増便運行を行った。利用者数は増便分で1便あたり4.4人であった。

2　前年度実施した電気三輪自動車を活用した新たな地域公共交通「べいぐるん」及び観光モビリティ「べいかーと」「べいとらいく」の実証運行の検証結果を踏まえ、運行範囲や予約方法等を変更して再度実証運行を実施したところ、べいぐるんについて地域住民の平日利用が2割増加するなど日常的な利用が促進された。また、キッチンカーの利活用については、商工会議所と連携し、キッチンカーの周知や、創業・事業者支援に取り組んだ。加えて、首都圏や大阪での電車広告等、情報発信に取り組んだ。

＜今後の取組＞

これまでの取組を継続して地元商店街の産業振興と高齢者にやさしいまちづくりに繋げていく。
令和6年度からは、これまでの取組を発展させた「誰もが夢をカタチにできる人流イノベーションシティ射水創造プロジェクト」に着手し、空き家や空き店舗を活用した新たな活動の場の創出、魅力的な町並みの形成、新たな人の流れを生み出す地域交通の実証などに取り組む。

②多様な産業・人材の参画による地域全体が潤う「稼げる」観光地づくり推進事業

事業費　　2,292千円
交付金額　1,146千円

＜事業概要＞R3～R7
「数」以上に「質」を重視し、何度でも訪れたくなる「選ばれ続ける観光地」としても魅力を向上させることで、コアな富山ファン・リピーターの獲得や消費単価・滞在日数の増を図るため、（公社）とやま観光推進機構を中核とし、県内15市町村や地域の多様な産業・人材が参画した地域主導による「稼げる」観光地づくりを推進する。平成28年5月に日本版DMO候補法人として登録された（公社）とやま観光推進機構を中心に、官民一体となって取り組むもの。
●アフターコロナを見据えた「稼げる」観光地づくり
●北陸新幹線の敦賀開業を見据えた戦略的プロモーションの展開
●「日台観光サミット」「世界で最も美しい湾クラブ世界総会」の開催実績を活かした国際観光交流の推進
●美術館等における魅力の磨き上げと新たな魅力・価値の創造等による誘客促進

KPI		R2	R4※	R7
観光消費額単価（宿泊・日帰り(円／人回)	目標値		9,360円	11,900円
	実績値	8,880円	10,838円	
観光客入込数（実数）(千人)	目標値		11,104千人	13,724千人
	実績値	11,039千人	13,926千人	
日本橋富山館来館者のうち観光交流サロンでのコンシェルジュ対応者数(人)	目標値		30,000人	40,000人
	実績値	15,000人	14,992人	
県立美術館等の年間来館者数（人）	目標値		470,000人	920,000人
	実績値	400,000人	759,257人	

※実績値の公表が翌年度の秋以降となるため前々年度実績

＜主な取組及び成果＞
とやま観光推進機構が企画するWEBサイト（VISIT富山県）の旅行商品として、「内川ナイトクルーズ」や「新湊漁港昼セリ見学」等の日帰りツアーを販売し市内への誘客を図った。また、射水市公式フォトアンバサダーでもあるイナガキヤスト氏の内川等の写真も活用し、市内の魅力の発信を行った。

＜今後の取組＞
事業期間の2年延長が承認されて、今後も引き続き、とやま観光推進機構を中心に、連携自治体・市町村観光協会・観光事業者等と協力の上、各種観光振興施策に取り組む。

③「みらい」へつなぐ持続可能な富山型グローカル交通ネットワーク形成事業

事業費　　839千円
交付金額　419千円

＜事業概要＞R1～R5

●地域公共交通ネットワークの確保・充実

県民・観光客等の地域公共交通の利用が進むよう、県・市町村・交通事業者が連携を図り、バスの乗継案内・運行情報（遅延情報）や沿線の観光情報の情報提供（多言語化対応）、運行間隔の短縮のための増便、条件不利地域（過疎地域等の中山間地域）での利用活性に向けた調査・実証運行等を行うなど、ニーズに応じた交通サービスの提供や接続利便性の向上により地域公共交通ネットワークの再構築を進める。

●県内外との広域交通ネットワークの確保・充実

県内や県外との周遊機能を高めるため、新幹線駅・拠点駅等と県内観光地・隣県観光地とスムーズに周遊できる広域的な公共交通サービスの充実や、多彩な鉄道・軌道を活かしたツーリズムの活性化に取り組む。

●富山空港の機能の充実

・羽田線の維持・充実、関西、九州・沖縄などへの新規路線やチャーター便の開拓など、国内航空ネットワークの充実、及び国際路線の維持・拡充に取り組む。

・空港の利便性の向上や活性化を促進、及び空港内の施設の適切な維持管理、航空機の運航に対する安定性の確保に努める。

KPI		H30	R4※	R5
鉄軌道・バスの利用率（県民1人当たりの年間利用回数）（回）	目標値		48.15回	48.70回
	実績値	46.00回	39.70回	
観光客の県内交通機関の満足度（%）	目標値		59.8%	61.8%
	実績値	50.8%	57.2%	
農林漁業等体験者数（県内における棚田オーナー、観光農園、地引網等の体験活動に参加した延べ人数）（人）	目標値		75,697人	77,572人
	実績値	68,199人	39,206人	
富山空港国内・国際路線（チャーター便含む）の利用者数（人）	目標値		590,725人	600,725人
	実績値	573,120人	251,509人	

※実績値の公表が翌年度の秋以降となるため前々年度実績

＜主な取組及び成果＞

令和元年度に県・交通事業者と連携して開発したバスロケーションシステム「とやまロケーションシステム」の維持管理を行い、連携自治体・交通事業者、沿線の商店・観光施設などと協力のうえ、利用者の利便性向上に努めた。

＜今後の取組＞

時刻表データの更新等システムの維持管理を適切に実施し、観光客等への情報提供や乗りやすく便利な交通環境を維持する。

令和6年度より新たな県連携事業「地域の「投資」と「参画」による駅を中心とした交通まちづくり事業」として、引き続き、地域公共交通ネットワークの確保・向上に向けた取組を実施する。

④開疎な脱炭素コミュニティ構築プロジェクト

事業費　　4,119千円
交付金額　2,059千円

＜事業概要＞R4～R6

●県・市町村が一体となりカーボンニュートラルをより総合的・分野横断的に推進するため、「富山県カーボンニュートラル推進本部」を設置する。

●小水力発電の導入可能性を調査・公開し、民間事業者等による新規導入を促進し、地域活性化を図る。

●とやまアルミコンソーシアムと連携して、アルミリサイクル研究開発支援や規制緩和、企業課題解決に向けた取組への支援を実施し、アルミ産業の成長力強化を図る。

●温室効果ガス排出を削減するため、過度な自家用車依存から脱却した地域公共交通ネットワークの再編を支援する。

●国境を越えた課題である気候変動問題に対応するため、北東アジア地域の自治体と連携して、温暖化状況モニタリングのスキームづくりや中高生の人材育成に取り組む。

●海王丸財団や「美しい富山湾クラブ」関連事業者のイベント・会議等実施に対して支援し、子どもたちが水資源をはじめとする自然に触れ、その保全のために取り組むことについて学ぶ機会を提供する。

KPI		R3	R4※	R6
エネルギーの消費量の2013年度比の削減率（%）	目標値		7.8%	11.1%
	実績値	6.3%	15.8%	
県内市町村での地球温暖化対策推進法実行計画（区域施策編）の策定率（%）	目標値		40.0%	86.6%
	実績値	26.7%	53.3%	
一般廃棄物循環利用率（%）	目標値		26.4%	27.2%
	実績値	26.0%	25.2%	
北東アジア地域の中高生を対象とした、環境保全に取り組む人材を育成する事業の参加人数（人）	目標値		919人	979人
	実績値	889人	946人	

※実績値の公表が翌年度の秋以降となるため前々年度実績

＜主な取組及び成果＞

・県と連携し、「世界で最も美しい湾クラブ」加盟記念モニュメントが設置されている海王丸パークでのイベント時に（公財）伏木富山港・海王丸財団が主になり、カーボンニュートラルの取組についてパネル展示を行い、理念の普及に繋げた。

・県と15市町村が共同で「とやまカーボンニュートラルポータルサイト」を設置し、カーボンニュートラルについて一元的な情報発信に取り組んだ。

⑤Toyama Digital Transformation Project

事業費　　1,981千円
交付金額　　990千円

＜事業概要＞R4～R8

●県、市町村でシームレスなデータ活用基盤を構築するともに、オープンデータサイトの拡充や人流データ分析ツールの導入により、企業等がデータを活用できる環境を整備し、様々な地域課題の解決を図るとともに、県内産業の成長につなげる。

●関係人口の増加や官民連携のさらなる推進を図るため、対象となり得る者のニーズや属性を的確に把握するためのデータマネジメント・プラットフォームの構築や、UI・UXの向上による訴求力の向上に取り組む。

●ビックデータ等のデジタル技術を活用して地域課題解決を図る実証事業を行い、県内企業や市町村への事例を横展開し、データ活用の有効性等の周知や新しいビジネスなどの創出を図る。

●小中学生を対象としたプログラミング教育や県内大学と連携したデータサイエンス教育、DXセミナー等、産官学連携した人材育成の取組を進める。スマートフォンの操作方法等を教えることができるボランティアを県内各地で養成し、デジタルデバイドを解消することで、暮らしの向上を図る。

KPI		R3	R4※	R8
データ利活用による地域課題解決の取組み件数（件）	目標値		10件	50件
	実績値	0件	9件	
データ利活用を推進する官民連携の組織に参加する企業・団体数（団体）	目標値		60団体	300団体
	実績値	0団体	0団体	
県立大学でのDX関連教育を受けた社会人数（人）	目標値		50人	170人
	実績値	20人	75人	
県立大学におけるDXに関する相談受付件数（件）	目標値		5件	25件
	実績値	0件	5件	

※実績値の公表が翌年度の秋以降となるため前々年度実績

＜主な取組及び成果＞

センサーを活用したIoT利活用事業として、排水路やため池の水位や降積雪量の常時観測を実施している。遠隔からの危険水位の検知や降雪量の計測の実現により、現地確認に係る職員の業務の効率化が図られた。また、リアルタイムなデータ取得により、浸水想定区域への伝達や除雪車出動要請など災害等への迅速な対応が可能となり、市民サービスの向上につながっている。

＜今後の取組＞

引き続き、IoT利活用事業を拡充しながら、県のデータ連携基盤との連携を見据え、オープンデータカタログサイトの構築にも取り組み、データ利活用の推進につなげる。

⑥スポーツ施設を核とした地域活性化事業（拠点整備タイプ）

事業費　　1,576,132千円
交付金額　　660,554千円

＜事業概要＞R2～R3

スポーツ合宿誘致への需要に対応するため、県西部唯一の人工芝グラウンド2面及び屋根付きフットサル場を整備し、スポーツ合宿誘致を通じた稼ぐ地域づくりを進めるとともに、既存イベント等を通じて近隣施設と連携し、より多くの人々を呼び込み、「射水の一大スポーツエリア　スポーツ合宿等で選ばれるまち　射水」として魅力創出を図る。

整備に当たっては、地元ケーブルテレビ局と連携・協力し、ローカル5G環境を整備するとともに、AIカメラを設置した。AIカメラは自動で、撮影・収録・編集・配信を同時に行い、YouTubeなどを通して世界中に大容量動画をシームレスに同時配信することで国内はもとより、世界中の有名な指導者からの遠隔指導が可能となるほか、同時に臨場感溢れるライブ映像を提供する。

また、IoTを活用した運動解析プログラムを提供し、現地での指導環境を充実させることに加え、ローカル5G環境が整ったホテルとの連携により撮影した映像によるプレー分析をホテルで行うことを可能にした。

さらに、近接する県内有数のスポーツトレーニング施設であり、温水プール・アリーナ・各種専門的なトレーニングマシンを備えた海竜スポーツランドを開放することで、身体能力の向上を図るための複合的なトレーニングメニュー等の提供が可能となり、スポーツ合宿のニーズに対応できる環境を整える。

KPI		R1	R5	R6
フットボールセンターの利用者数（人）	目標値		55,000人	60,000人
	実績値	0人	76,696人	
スポーツ合宿の誘致件数（件）	目標値		25件	30件
	実績値	0件	8件	
全国大会開催数（件）	目標値		2件	3件
	実績値	0件	0件	
総合型地域スポーツクラブ会員加入率（クラブ入会者数/射水市人口）（%）	目標値		4.95%	5.00%
	実績値	4.80%	4.86%	

＜主な取組及び成果＞

利用者については、前年度から約1万人増の76,696人となり、2年連続で目標値を上回った。
（R4利用者数：66,814人）
また、多様なスポーツを体験できるイベント「オリスポフェス2023」を開催するなど、賑わい創出に努めた。

＜今後の取組＞

令和6年能登半島地震の影響により、人工芝フィールド2面の利用を停止しているが、スポーツを通した交流人口創出の核となるフットボールセンターの早期復旧を進める。
また、市内で宿泊施設の開業が進むことから合宿誘致の取組を進める。

６　総合戦略における数値目標及び重要業績評価指標

項　目		新規	数値目標、KPI	基準年度	基準値	目標値（令和6年度）	目標値の確認方法
基本目標1 結婚・出産・子育て・子どもの学びの環境づくり	数値目標		「子育てが楽しい」と回答する割合	H30	97.8 %	100 %	健診に来た保護者への問診結果
			「授業がよく分かる」児童・生徒の割合	H30	(小)93.3 (中)80.5 %	(小)100 (中)100 %	毎年全小中学校にて実施のアンケート調査結果
結婚に対する支援	重要業績評価指標（KPI）		男女出会いイベント数	H30	4 件	8 件	婚活サポーターズクラブ主催のイベント及び市が助成し民間が主催するイベントの件数
子育て支援サービス等の充実			休日保育実施保育園数	H30	9 園	10 園	休日保育を実施する保育園の数
			子育て支援センター(市内9か所）の年間利用者数	H30	50,122 人	55,000 人	子育て支援センターの年間利用者数（市内子育て支援センター9か所の利用者の合計値）
		新R2	射水市子育て支援センター利用者満足度	R1	89.0 %	100 %	利用者アンケートの質問事項として設定（子育て支援センター（キッズポート内）利用者へのアンケート）満足、おおむね満足の割合
		新R5	子育て情報ちゃいる.comアプリのインストール数	H30	729 件	2,000 件	子育て情報ちゃいる.comアプリのインストール数（累計）
		新	赤ちゃんの駅設置箇所数	H30	37 箇所	45 箇所	赤ちゃんの駅の設置箇所数
男性の育児・家事参加促進			男性の育児休業取得率	H30	18.9 %	20.0 %	毎年3名以上を雇用している中小企業500社に実施するアンケート調査結果
親と子の健康づくりの推進			3歳6か月児健康診査の受診率	H30	99.2 %	100 %	3歳6か月児健康診査の受診率
未来を担う子どもたちの学力定着、たくましい子どもの育成			家庭学習の1日当たり時間が「10分間×学年」以上の児童・生徒の割合	H30	(小)88.2 (中)68.3 %	(小)100 (中)100 %	毎年全小中学校にて実施のアンケート調査結果
郷土愛を育む教育の推進			地域の行事に参加している児童・生徒の割合	H30	(小)79.3 (中)61.2 %	増加	毎年全小中学校にて実施のアンケート調査結果
それぞれの子どもに寄り添った教育の推進			不登校児童・生徒数	H30	(小)32 (中)63 人	減少	毎年全小中学校にて実施のアンケート調査結果
家庭や地域における教育の充実			家庭教育に関する講座・学習会の年間参加者数	H30	994 人	1,100 人	いみず親学びスクール、子育て井戸端会議、家庭教育アドバイザースキルアップ研修会の参加者合計
基本目標2 地域のしごとづくり	数値目標		雇用創出数（年間求人数）	H30	10,217 人	11,000 人	ハローワーク高岡管内の年間求人数
			6次産業化推進事業件数（累計）	H30	1 件	9 件	補助事業を活用して6次産業化に取り組んだ事業者数
企業等誘致の推進	重要業績評価指標（KPI）		市内企業団地分譲率	H30	97.6 %	100 %	市内企業団地分譲率
創業や意欲のある企業への支援			創業支援事業補助金年間利用件数	H30	15 件	20 件	創業支援事業補助金年間利用件数
産学官金連携による共同研究、学術交流の実施			産学官金連携による共同研究の年間件数	H30	14 件/年	15 件/年	共同研究の件数を富山県立大学の地域連携センターから報告
射水ブランド商品開発支援、情報発信		新	射水ブランド商品開発等支援補助金を活用した延べ件数	H30	1 件	7 件	射水ブランド商品開発等支援補助金を活用した延べ件数
6次産業化の推進		新	養殖サクラマスの年間出荷数	H30	17,200 尾/年	40,000 尾/年	堀岡養殖漁業協同組合から報告
情報通信技術の活用		新	IT、IoTを活用して生産性向上に取り組む事業者の割合	H30	— %	30.0 %	毎年3名以上を雇用している中小企業500社に実施するアンケート調査結果（新規に項目を設ける）
		新R2	テレワークを実施している企業数	R2	— 件	増加	毎年3名以上を雇用している中小企業500社に実施するアンケート調査結果
ワーク・ライフ・バランスの普及・啓発		新	長時間労働の削減に取り組む事業者の割合	H30	56.3 %	65.0 %	毎年3名以上を雇用している中小企業500社に実施するアンケート調査結果
勤労者の福利厚生の充実			中小企業退職共済加入者数	H30	3,759 人	4,200 人	中小企業退職金共済から報告
人材確保に対する支援			人材確保充足数	H30	1,601 件	1,650 件	ハローワークで出している市内企業の求人に対し、求職者をマッチングした件数

項　目		新規	数値目標、KPI	基準年度	基準値	目標値（令和6年度）	目標値の確認方法
基本目標3 市の魅力を内外に発信し、新しい人の流れづくり	数値目標		純移動数（転入者数ー転出者数）※直近の5年間の累計	H30	△164 人	0 人（均衡）	富山県人口移動調査による
		新	射水市観光ホームページ閲覧数	H30	332,298 件	600,000 件	観光協会で運営しているホームページの閲覧数（累計）
移住交流の推進	重要業績評価指標（KPI）	新	移住施策を活用して市外から移住した人数	H30	88 人	100 人	移住施策を活用して市外から移住した延べ人数
住宅支援		新	指定宅地における住宅建築率	H30	41.9 %	50.0 %	指定宅地における住宅建築率
住宅相談・住まい情報の提供			住宅相談窓口年間相談数	H30	36 件	45 件	射水市住宅関連情報提供事業の一環として設置している住宅相談所での相談件数
空き家の有効活用			空き家の有効活用支援延べ件数（サテライトオフィス、シェアオフィスを含む。）（累計）	H30	1 件	3 件	各種助成制度を活用し、空き家の有効利用を図ったものの延べ件数
		新	空き家情報バンクへの登録件数	H30	36 件	40 件	空き家情報バンクへの登録件数
観光資源の有効活用			ロケ地（川の駅）来訪者数	H30	45,835 人/年	50,000 人/年	川の駅新湊の入込数
			海王丸パーク周辺入込数	H30	1,767,400 人/年	1,850,000 人/年	海王丸パークときっときと市場の入込数の合計
関係人口の創出		新	継続的に射水市にふるさと納税をした人数	H30	295 人/年	320 人/年	3年以上継続して射水市にふるさと納税をした人数
		新R2	市LINE公式アカウント友だち数	R2	— 人	25,000 人	市LINE公式アカウントの友だち数
スポーツによる交流人口の拡大		新	フットボールセンターの年間利用者数	H30	— 人/年	60,000 人/年	R3年度に建設予定のフットボールセンターの年間利用者数
コミュニティバス、デマンドタクシー運行の利便性向上			コミュニティバス等乗車人数	H30	418,572 人/年	450,000 人/年	コミュニティバスとデマンドタクシーの乗車人数
2次交通の充実			万葉線乗車人数	H30	1,192,041 人/年	1,200,000 人/年	万葉線の乗車人数
		新	小杉駅、越中大門駅の乗車人数	H30	1,557,708 人/年	1,642,500 人/年	あいの風とやま鉄道が発表する1日あたりの乗車人数×365日
高等教育機関、企業等と連携した学生の地元就職支援			市内企業に就職したい学生の割合	H30	50.7 %	70.0 %	市内企業訪問バスツアー参加者に対するアンケート調査結果
			学生訪問支援事業の参加学生の満足度	H30	97.2 %	98.5 %	市内企業訪問バスツアー参加者に対するアンケート調査結果
学生の地域活動への参画		新R5	まちづくりに参画した学生・生徒の数	R4	437 人	503 人	「射水市学生のまちづくり推進会議」の学生委員数、「いみず学生アイディアコンテストー次審査」への応募学生数、「高等学校との連携事業」に参加した生徒の数の計（年間）
新たな学びの場の創出に対する支援		新R5	新たな学びの場の創出に対する支援数	R4	— か所	2 か所	新たな学びの場の創出に対し支援した数

項　目		新規	数値目標、KPI	基準年度	基準値	目標値（令和6年度）	目標値の確認方法
基本目標4 安心して暮らせる時代に合ったまちづくり	数値目標	新	地域の支え合い体制の推進地域数	H30	15 地域	27 地域	地域支え合いネットワーク事業を実施している地域数
			まちづくり講座参加者のうち、まちづくりに積極的に参加したいと答えた人の割合	H30	45.5 %	50.0 %	まちづくり講座（まちプラ、まちづくりセミナー等）への参加者に対するアンケート
医療体制の充実と質の高い医療の提供	重要業績評価指標（KPI）		総合患者満足度数	H30	4.13 点	4.15 点	入院患者を対象に行っている満足度調査の結果
地域の防災体制の整備、安全・安心な暮らしの実現			防災士取得者人数	H30	109 人	162 人	防災士取得者数
			消防団員数	H30	707 人	757 人	消防団員数
低炭素・循環・自然共生による価値の創出		新	一人/日当たりのごみの排出量	H27	1,117 g	1,005 g	国報告値 ※9月議会で報告する場合、前々年度の実績値となる（各年度の国確定値の報告が翌年度の1月ごろになるため）
		新	リサイクル率	R2	20.9 %	22.1 %	
地域づくりの担い手育成、情報通信技術の活用による利便性の向上			まちづくり講座受講者数	H30	22 人	200 人	まちづくり講座（まちプラ、まちづくりセミナー等）への参加者数
全世代・全員活躍型「生涯活躍のまち」の展開		新	事業運営を担う中核的法人数	H30	― 法人	2 法人	老若男女が活躍できる「ごちゃまぜ」のまちづくりに主体的に取り組む法人数
高齢者が健康で生きがいを持ち活躍できるまちづくりの推進			元気な高齢者の割合	H30	82.0 %	78.0 %	65歳以上人口のうち、要支援・要介護認定を受けていない者の割合
女性活躍の推進		新R3	セミナー受講者の満足度	R3	― %	80.0 %	セミナー受講者に対するアンケート結果
		新R3	女性キャリアアップ応援補助金年間利用件数	R3	― 件	20 件	補助金申請件数
多様性を認め合う共生社会の実現		新	多文化こどもサポートセンターの参加数	H30	176 人	200 人	多文化こどもサポートセンターの年間参加数
人口減少を踏まえたストックマネジメントの強化			見直しする公共施設の延べ件数	H30	32 件	42 件	廃止した累計の施設数
情報通信技術の活用による利便性の向上及び行政の効率化			ICカードの多目的利用延べ業務数	H30	4 業務	10 業務	マイナンバーカードを利用できる業務の数
		新	IoT活用延べ業務数	H30	― 業務	15 業務	IoTを活用する市の事業の数
		新	RPA活用延べ業務数	H30	― 業務	20 業務	RPAを活用する市の事業の数
		新R2	テレワーク活用延べ件数	R1	― 件	360 件	市職員でテレワークを実施した件数（目標：テレワーク端末30台×12か月）
とやま呉西圏域連携中枢都市圏の取組強化、官民連携事業の推進			呉西圏域で連携して取り組む事業数	H30	32 件	33 件	とやま呉西圏域都市圏ビジョンに基づき実施された事業のうち、本市が参加する事業数